

大阪市立天王寺中学校 69期生 土橋 瑞加

私は天中で、どちらかと言えば勉強よりバドミントン部の活動に熱心で、顧問の先生や仲間にも恵まれ、引退を迎えるまで全てにおいてバドミントンを優先させていたように思います。でも、高校に進学してからは大学に進学したいという目標が生まれ、勉強とバドミントン部活動の両立をめざしました。中学の時からとにかく英語が苦手で、克服することは至難の業でしたが、目標達成には避けて通ることができない英語の勉強に力を入れる決心をしました。そのきっかけとなったのは、高校2年生の夏に参加した2週間のオーストラリア語学研修です。海外研修ってかっこいい響きですが、いざ自分が経験するとなると期待より不安が大きくなって、「一人でのホームステイでホストファミリーとちゃんと会話ができるだろうか」とか「仲良くなれるんだろうか」と心配になったのを覚えています。でも、せっかくのチャンス♪と前向きにとらえ、自分の中で「自分から積極的に話しかけよう」と常に心がけることに徹しました（自分でもこの強さにびっくりです）英語が思いつかない時は身振り手振り、いわゆるボディーランゲージで攻めていきました（笑）すると日に日にホストファミリーとの距離がすぐに縮まり、仲良く会話する楽しさを実感するようになりました。しかし楽しい時間はすぐに流れるもの・・・あっという間に2週間が過ぎ、日本では絶対に経験できない貴重な体験も終了となりました。

私はこの語学研修をきっかけに、もっといろいろな国の人ともコミュニケーションを取れるようになりたいと強く思うようになりました。中学時代に経験した国際交流も無意識の中で芽生えてきたように思います。大学生になっても今の気持ちを大切に、英語の力を伸ばしていくことを心に決めました。

